

問 共同調理場の2000万円は、検討委員会もしていない。少子化で南北小学校統合や給食の統合など、すべて検討して予算計上すべきでは。

答 今週末には検討委員会を開催し、具体案を検討していきたい。予算は、県内の同規模施設工事が5億円くらいであったので、そこから委託料を積算した。

問 地震後に確認された断層の文化財指定は。

答 審議会で答申があり、所有者と協議しながら指定していきたい。

スポーツ課関係では、平成28年度国体冬季大会の準備費用1億4078万7千円、ナショナルトレーニングセンター事業1831万4千円、スノーハープ維持管理事業2135万1千円。ジャンプ競技場維持管理事業8278万6千円、ウイング21維持管理事業2207万8千円など。

健康福祉課関係では、国の地域介護・福祉空間整備推進交付金活用事業で堀ノ内区、三日市場区の地域支え合いセンター建設費6888万円、臨時福祉給付金等に2207万円、30歳代

の若年層を対象の特定健診経費、定期接種費用などの保健予防事業に4752万4千円など。

問 地区にどのくらいの人が残るか不明なのに、とりあえず1施設という考えがなかったのか。

答 被災地区には人が集まれる、拠点となる施設が必要であると考え2施設を建設することにした。

問 常勤に近い者を臨時保育士にしていることについては。

答 財政上の問題もあり現状は臨時職員対応となっている。

観光課関係では、最終年となる観光地経営計画策定に880万2千円、親海湿原遊歩道の修繕に750万円、白馬村観光局負担金に7996万8千円、被災住宅の修繕工事補助金に1000万円。

問 観光地経営計画の進捗状況は。

答 26年度は委員会を2回、ワーキンググループを3回開催、27年度は各4回予定、9月に骨子を固め、パブリックコメントを経て最終案を作る予定。

上下水道課関係では、合併浄化槽設置補助事業に1477万2千円。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第21号 平成27年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算

歳入歳出予算総額を14億2610万円、前年比1億8822万円の増。医療費の高額化や、特定健診、特定保健指導に係る事業費及び後期高齢者拠出金、介護納付金等の伸びによる。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第22号 平成27年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算総額を7200万円、前年比310万円の減。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第23号 白馬村下水道事業特別会計予算

歳入歳出予算総額を6億6173万6千円、前年比584万円の減。

歳入では使用料1億87748万4千円、一般会計繰入金3億2381万6千円など。歳出では、浄化センター工事請負費300

0万円、汚泥処理委託料1036万8千円、単独災害復旧事業500万円など。

問 受益者負担金の不納欠損額と理由は。

答 96万3200円であり、時効消滅によるものがほとんど。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第24号 平成27年度白馬村農業集落排水事業特別会計予算

歳入歳出予算総額を396万6千円、前年比131万円の減。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第25号 平成27年度白馬村水道事業会計予算

収益的収益は3億326万3千円、収益的費用は2億979万3千円。資本的収入は1353万9千円、資本的支出は1億11万4千円。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

少数意見報告 太田 伸子

共同調理場建設の設計管理委託料2000万円を計上するにあたり、村学校給食施設検討委員会は一度も開催されていない。自校給食を行っている白馬南小学校の調理場も22年経っている。また高齢者の配食サービスや、地域の特色をつけるためにも白馬高校も構想に入れないかなど、大切な検討事項がある。規模や場所の選択、設備機器などの検討もなく、アバウトに近隣の調理場建設費用を参考に計上することには、認めることはできない。

賛成討論 加藤 亮輔

災害復旧事業、生活再建策等の計上、また、子育て世帯から要望の強い未満児保育定員を4名拡大したことを評価し、賛成する。

しかし、軽微な被害に対しての「被災住宅修繕工事補助金事業」から、滞納者に法的根拠も示さず除外している。滞納者に対しては、法律により、高い延滞金、差し押さえ、公売の強制処分済みである。「除外よし」との規定は、国の法律にはない。誰でも利用できるように、除外規定の削除を求める。